

リンゴ極早生種 ‘あおり16’

研究のねらい

食味、外観、栽培性の優れた早生種を育成する。

研究の成果

選 抜 理 由：食味とともに着色も良い極早生品種として選抜された。

組み合わせ：67-45（‘あかね’×レロ11）×‘夏緑’

*レロ11：‘東光’×‘リチャードデリシャス’

交 配 年 次：1984年（昭和59年）

登 録 出 願：2001年（平成13年）3月

樹 の 性 質：樹姿は中間型で、樹勢は強い。斑点落葉病には‘ふじ’並の抵抗性がある。
豊産性である。

収 穫 時 期：8月中旬。収穫前落果がややみられる。熟期が不揃いなので、2～3回に分けてすぐりもぎをする必要がある。

果 実 特 性：大きさは220g程度である。果皮色は縞のない濃紅色で、着色が先行する。
果形は円～扁円形。食味は甘味が強い。貯蔵性は常温で5日程度、冷蔵で2週間程度である。



発表資料

1. 育種部（2001）．りんご育成系統「あおり16」の特性．平成13年度指導奨励事項・指導参考資料：86-87.
2. 工藤 剛（2001）．県りんご試育成系統「青り15号」及び極早生青り系統の特性．季刊りんご技術 65：16-17.
3. 今 智之（1999）．極早生系統「青り11、12、16号」の特性．季刊りんご技術 61：15-16.